

令和4年度（麻生総合高校）不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
(1) 法令遵守意識の向上（法令の遵守、服務規律の徹底）	法令遵守の意識を向上させ、公務外の非行を防止する。また、新規採用職員及び臨時的任用職員・会計年度任用職員への指導を徹底する。	新規採用職員には、年度初めに教頭より「神奈川県公立学校職員の倫理に関する指針」を配付して研修を行った。その後全職員に対し、折に触れて管理職より注意喚起を行った結果、特段の問題はみられなかった。
(2) 職場のハラスメント（パワハラ・セクハラ、マタハラ等）の防止	職員同士が互いにしっかりとコミュニケーションをとり、円滑な人間関係を築き、良好な職場環境をつくる。	職員間の業務分担における立場の違いはあっても、お互いにお互いを尊重する姿勢で臨み、オンザフライミーティングなどで、情報交換だけでなく意思疎通の機会を大切にされた結果、特段の問題はみられなかった。
(3) 児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	何事にも疑義を持たれないよう職員の人権意識を向上する。	4月に「わいせつ事案等の根絶に向けた取組について」を踏まえて管理職より講話を行い、「不祥事根絶のための自己点検シート」を用いて職員全員が振り返りを行った。その後、折に触れて管理職より注意喚起を行った結果、特段の問題はみられなかった。
(4) 体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重し、体罰や不適切指導を未然に防止する。	管理職により校内巡視などを丁寧に行い授業の様子や部活動の指導の様子を観察し、折に触れて生徒の人権を尊重するよう示唆を行った。また、11月には外部講師を招き「生徒を育てる職員の援助スキル」に関する研修を行った。その結果、特段の問題はみられなかった。
(5) 入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	マニュアルに基づき、点検を確実にし、入学者選抜、成績処理及び進路に係る事故を防止する。	年度はじめからチェックリスト見直しを想定して試験等の取扱いを行い続けた上で、10月の不祥事防止会議で、定期試験問題のチェックリストの見直しを行い、進路関係書類の作成については校内のマニュアルに基づいて推薦希望者の条件点検等を確実にした。その結果、特段の問題はみられなかった。
(6) 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	個人情報の適正管理により、流失事故・誤廃棄を未然に防止する。	個人情報管理については、電子フォルダの使用区分の確認や、答案の誤廃棄防止のため定期テスト返却までの期間のシュレッダー使用禁止など、対策を着実に実施している。その結果、特段の問題はみられなかった。
(7) 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通ルール・マナーを遵守し、違反者を出さない。	12月に管理職より飲酒運転等の根絶に向けて注意喚起を行った結果、特段の問題はみられなかった。

(8) 業務執行体制の確保等(情報共有、相互チェック体制、業務協力体制)	業務執行上の事故を未然に防止する。	情報共有を細やかに行い、業務を特定の職員が抱え込まないよう、協力体制を整えさせた。また、常に不祥事防止を意識し、自分事として捉えさせた結果、特段問題はみられなかった。
(9) 財務事務等の適正執行	私費・県費の会計処理をルールに則り適正に執行する。	10月に神奈川県教育委員会不祥事防止職員啓発・点検資料をもとに、職員研修を行った。また、私費の執行に関わる業務は、複数体制で点検を行い、適正に処理をした。その結果、特段の問題はみられなかった。
(10) 生活指導と生徒支援の一体化による適切な指導支援と職員の心身の健康保持	様々な背景を踏まえた適切な指導支援を外部も含めた協力体制で実施。	学校全体での生徒理解を図り、本校の実態に即した支援体制を実現するため、教育相談担当に年次の生活指導Gをメンバーに加えた「全体会議」を月1回程度実施した。生徒の背景を理解した上での支援につなげることができた。
(11) 職員のワークライフバランスの実現と、心身の健康保持	教職員の仕事と私生活のバランスの見直しや働き方改革を推進する。	ストレスチェックの受検率は93.4%、高ストレス割合は14.0%(県立学校全体 15.2%)であった。管理職が職員の様子を観察し、心身の健康保持に努めた。その結果、特段の問題はみられなかった。

○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題

(学校長意見)

(1) 令和4年度不祥事ゼロプログラムの達成状況

- 令和4年度不祥事ゼロプログラムに基づき、不祥事防止会議において本校の課題や改善策を検討し、取り組んだ。
- 自校のヒヤリハットを主な事例として検討した結果、教職員の不祥事防止に対する意識が向上した。
- 生徒を尊重し、健康・安全を守るために、教育相談体制の見直しや外部講師を招いた研修による研修等を通じて、改善が進んだ。

(2) 令和5年度に取り組むべき課題

- 体罰・不適正な指導の防止、入学者選抜、成績処理や進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止、個人情報等の管理・情報セキュリティ対策、会計事務等の適正執行を重点課題として引き続き取り組む。
- 成績処理・進路関係以外の様々な手続きや対応のマニュアルの見直しを進める。
- 再編統合を見据えて、業務の整理、効率化を進めていく。